

# 学校だより

平成19年 7月20日号

広島市立美鈴が丘小学校

平成19年7月20日

## 「楽しい学校」をつくるために〔第4部その(5)ー(通算53)〕

ーがっこうだいすき ともだちだいすき じぶんだいすきー  
夏休みに入るにあたって

熱い(暑い)夏がやってきました。明日からいよいよ8月29日まで夏休みです。終業式のない初めての夏休み突入です。その代わりに、20日は「夏休みがんばろう会」を児童会主催で行います。4, 5, 6, 7月の各学年のがんばった(象徴的な)様子をスライドを使って、振り返ります。また、保護者の皆様とは、各担任が夏休みの過ごし方や4月以降の子どもたちの様子等について相談(教育相談)も行います。水泳の特訓や市の水泳記録会(5, 6年生)参加児童の練習もあります。8月6日は「平和のつどい」の登校日です。合唱クラブのNHK音楽コンクール(広島県大会)出場もあります。ラジオ体操を始めとする子ども会主催の様々な取組もあります。ソフトボールや社会体育のミニバスケットボール, サッカー, バレーボール, ラグビー, 太鼓, 卓球・・・の練習や試合も行われます。児童館, 留守家庭子ども会, 公民館などでの活動や様々な取組もあります。8月30日には「夏休みがんばった会」を児童会主催で行い, 10月3日までの学期の締めくくりのスタートとしたいと思います。

7月13日の「平和コンサート in みすず」(平和集会&平和コンサート)はいかがだったでしょうか。昨年に引き続いて美鈴が丘高校の講堂をお借りし, 第1部を児童会主催, 第2部をPTA会員研修部と学校との共催という初めての試みで, あいにくの雨天をもととせず, 参加者の熱気で感動的な会にすることができました。保護者の方も200名を超える参加, 地域の方や話を聞きつけて来られた他地域の各方面からも多数参加され, 平和への思いを共にすることができました。事前の取組や当日の運営には, 会員研修部を始めとする保護者の方々の汗と涙のドラマがありました。改めて感謝申し上げます。(当日の私のまとめのあいさつから, 概略を振り返ってみます。話は, 第2部の終わりから第1部の始めの方へと遡っています。)

すばらしい『千の風になって』の歌声でした。『夾竹桃の子守歌』の「白い砂にまみれて, 今も7つのまま」の少女のためにもがんばって生きたい, 少女は「あの大きな空を吹き渡って」私たちに「生きよ!」「私のようにならないために!」と励ましているのです。感動的な『千の風になって』の歌声でした。

第2部は, 5年生の『平和のメッセージ』から始まりました。石井みちこさんの思いを知り, いのちについて考え, 心をつ一つにして歌った5年生の, そして, 先輩として支え, 共に歌った6年生の『夾竹桃の子守歌』『世界の命=広島心』が「いのち」「生きる」ということで『千の風になって』ともつながっていきました。すばらしい歌声でした。

山下大明さんの屋久島のすてきな, とってもすてきないのちのハーモニーのお話

で, ヒロシマで学び, 生きる私たちに「生きること」の大切さを教えていただきました。山下さん, ありがとうございます。5年生, 6年生ありがとうございます。市民合唱団の皆様方, ありがとうございます。熱い指揮を執っていただいた湯山さん, フルートの梶川さん, バリトンの飯島さん, ピアノの勝田さん, エレクトーンの森さん, いつも指導していただいています渡辺さん, 感動をありがとうございます。

『アオギリのうた』これもすばらしかった。「たくさん たくさん たね生んで家族がふえたんだよ よかったね」「遠いあの日のかなしいできごと」を乗り越えて, 「広島のがいがはただひとつ せかい中のみんなの明るい笑顔」いいですね。

群読『燃える樹』—すごいですね。「樹も人も思う心, 平和を思う心は同じ」そうですね。いのちのめぐみ, 大切に! 山下さんの話とも響き合っていました。

寺田真理子さんの『世界の平和をめざして』の意見発表—「歌声を重ね, 歌で一つの命のハーモニーをつくっていき, そして, どんどんそのハーモニーを大きくし, 世界に平和の輪をつなげていきたい。その輪を私たちがつくる」すばらしい!(6月16日の『こどもピースサミット』での発表者でした。)

さすが6年生の発表—『美鈴の地域の方を通しての平和学習』しっかり聴き取りをしましたね。「私たちは(先輩からの)バトンを受け取らなくてはいけない。未来につなぐ橋渡しは私たちがする!」の想いを新たにしました。地域の先輩たちに感謝!後輩のため, 命をつなぐリレー。今後ともよろしく願いいたします。

4年生『平和に対する想い』—松本都美子さんからのお話をもとに, そして, 「太陽をなくした日」の映画(アニメ)をもとに, 「戦争やいじめのない平和な世界をつくっていきたい。そのことを語り継いでいく」と決意を語りました。

企画委員会『伸ちゃんの三輪車』—あと10日で4歳になれたはずの伸ちゃんとお父さんの無念さは痛いほど伝わってきます。「おもいっきり遊べる世の中を!」の訴えは心に響いてきました。

1年生『おこりじぞうを見て』—ひろちゃんは6歳の誕生日の日に原爆でなくなつた。いつまでも6歳のまま。わらいじぞうがおこりじぞうになった悲しみ, いかりがわかります。みんなが笑ってくらせる世界にしたい!

2年生『一人ひとりのいのち』—7歳の誕生日を迎えることができないひろちゃんの未来が奪われてしまった。そうならないために, 一人ひとりの命が未来につながってほしい, みんなが長く生きられる, 私たちの未来をつくりたい。

3年生『一人ひとりの平和』—松本都美子さんのお話と「太陽をなくした日」の映画をもとに, 地球の, 私たちの未来をなくさないよう, 学習を続けていくというすばらしい発表の決意でした。一人ひとりの平和への想いが伝わりました。

ステージの下の両側にある大きな千羽鶴は1-6年生, 3-5年生, 2-4年生が一緒になって作り, 一人ずつ平和へのメッセージを書いています。小さな千羽鶴(1羽1羽つけた房はクラス一房ずつ)は, りんりん朝会などを使って作ったものです。(7月26日の『原爆の子の像』碑前祭に児童会代表が持っていき, 碑前にさげます。)

司会と劇をした企画委員会の皆さん, よくがんばりました。第2部の司会をされた会員研修のお母さんありがとうございます。